

平成30年第2回定例会（12月議会）

予算特別委員会福祉環境分科会提出資料

福祉環境委員会提出資料

—— 補正予算・議案関係 ——

平成30年12月3日

健 康 福 祉 部

# 目 次

## ◎ 補正予算関係

1	在宅医療・介護 I C T 連携促進事業	(福祉政策課)	.....	1
2	地域介護福祉施設等整備事業	(長寿社会課)	.....	2
3	地方独立行政法人秋田県立病院機構支援事業	(医務薬事課)	.....	3
4	医療提供体制整備費補助事業	(医務薬事課)	.....	5

## ◎ 議案関係

1	地方独立行政法人秋田県立病院機構中期目標(案)の概要	(医務薬事課)	.....	6
---	----------------------------	---------	-------	---

# 事業概要

福祉政策課

事業名	内 容
<p>在宅医療・介護ICT 連携促進事業</p> <p style="text-align: right;">6,528千円</p> <p>(ⓐ 6,528)</p> <p>[地域医療介護総合確 保基金]</p>	<p>1 事業目的 地域の在宅医療や介護に携わる多職種間の情報共有を図るため、ICT（情報通信技術）を活用した連携システム構築（ナラティブブック秋田）を推進する経費に対して助成する。</p> <p>2 実施主体 （一社）秋田県医師会</p> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象地域 能代山本地域及び横手地域</li> <li>・利用施設 30施設（15施設×2地域） （施設の内訳） 病院、診療所、訪問看護、薬局、介護施設、 地域包括支援センター等</li> <li>・対象経費 サービス登録・利用料（施設及び患者） システム運用サポート経費 モバイル機器購入費 等</li> <li>・補助率 10/10（サービス利用料及びモバイル 機器等購入費は3/4）</li> </ul>

## 事 業 概 要

長 寿 社 会 課

事 業 名	内 容
<p>地域介護福祉施設等整備事業 (地域密着型サービス施設等整備事業)</p> <p style="text-align: center;">8, 500 千円</p> <p>(Ⓐ 8, 500)</p> <p>[地域医療介護総合確保基金]</p>	<p>1 事業目的 介護サービスを必要とする利用者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域密着型サービス事業所等の整備に対して助成する。</p> <p>2 実施主体 横手市</p> <p>3 事業内容 空き家を活用した地域密着型サービス事業所の整備 8, 500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設種別 認知症対応型デイサービスセンター</li> <li>・事業者 (同) 朝倉慈照会</li> <li>・補助額 8, 500千円(定額)</li> </ul>

# 事 業 概 要

医 務 薬 事 課

事 業 名	内 容																				
<p>地方独立行政法人秋田 県立病院機構支援事業</p> <p>1,891,234千円</p> <p style="font-size: 1.2em;">〔 ⊕ 2,087,517 ⊖ Δ 196,283 〕</p> <p>[地域医療介護総合確 保基金]</p>	<p>1 事業目的</p> <p>脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制の構築を図るため、脳血管研究センターの増築棟における循環器病床の整備に対して支援を行うほか、西棟（旧成人病医療センター）の解体等に要する経費を補助する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 政策医療等に対する交付金 <span style="float: right;">0千円</span>                  （地域医療介護総合確保基金の追加内示による財源振替）</p> <p style="margin-left: 40px;">脳血管研究センター</p> <p style="margin-left: 40px;">○病棟増築等に要する経費 <span style="float: right;">0千円</span></p> <p style="margin-left: 80px;">・ 医療機器移転経費等 <span style="float: right;">〔 ⊕ 196,283千円 ⊖ Δ 196,283千円 〕</span></p> <p>(2) 脳血管研究センター施設整備費補助金</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">1,891,234千円</p> <p>・ 対象経費</p> <table style="margin-left: 40px; width: 80%;"> <tr> <td>【a】西棟解体設計費（※）</td> <td style="text-align: right;">34,992千円</td> </tr> <tr> <td>【b】西棟解体費</td> <td style="text-align: right;">719,280千円</td> </tr> <tr> <td>【c】医療機器除却損</td> <td style="text-align: right;">10,126千円</td> </tr> <tr> <td>【d】医療機器整備（※）</td> <td style="text-align: right;">3,876,318千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td style="text-align: right;">4,640,716千円</td> </tr> </table> <p>・ 補助率</p> <p>【a】～【c】 県10/10</p> <p>【d】 <math>\frac{\text{循環器病床（50床）}}{\text{増築棟の急性期病床（86床）}} \times \frac{1}{2}</math></p> <p>・ 補助金額</p> <table style="margin-left: 40px; width: 80%;"> <tr> <td>【a】西棟解体設計費（※）</td> <td style="text-align: right;">34,992千円</td> </tr> <tr> <td>【b】西棟解体費</td> <td style="text-align: right;">719,280千円</td> </tr> <tr> <td>【c】医療機器除却損</td> <td style="text-align: right;">10,126千円</td> </tr> <tr> <td>【d】医療機器整備（※）</td> <td style="text-align: right;">1,126,836千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,891,234千円</td> </tr> </table> <p>（※）県立病院機構施設整備等貸付事業特別会計で当初予算計上済。                  地域医療介護総合確保基金の追加内示による補正。</p>	【a】西棟解体設計費（※）	34,992千円	【b】西棟解体費	719,280千円	【c】医療機器除却損	10,126千円	【d】医療機器整備（※）	3,876,318千円	合 計	4,640,716千円	【a】西棟解体設計費（※）	34,992千円	【b】西棟解体費	719,280千円	【c】医療機器除却損	10,126千円	【d】医療機器整備（※）	1,126,836千円	合 計	1,891,234千円
【a】西棟解体設計費（※）	34,992千円																				
【b】西棟解体費	719,280千円																				
【c】医療機器除却損	10,126千円																				
【d】医療機器整備（※）	3,876,318千円																				
合 計	4,640,716千円																				
【a】西棟解体設計費（※）	34,992千円																				
【b】西棟解体費	719,280千円																				
【c】医療機器除却損	10,126千円																				
【d】医療機器整備（※）	1,126,836千円																				
合 計	1,891,234千円																				

# 脳血管研究センターの機能強化等に係る工事計画の概要について

医務薬事課

## ■増築までの運用 (H27年度～H30年度)

- 脳研センターと旧成人病医療センター建物を渡り廊下で結合し、暫定運用
- 暫定運用に支障がないよう両建物の医療情報システムの結合・増設を行うとともに、必要な管理委託・保守委託契約を行う。
- 循環器疾患患者の外来診察は、現脳研センターで行い、検査・手術・入院診療は、旧成人病医療センター建物で行う。
- 脳研センターの駐車場整備のため旧衛生看護学院を解体

## ■増築工事 (H29年度～H30年度)

- 脳研センターの増築工事完了後、脳・循環器疾患の検査・手術・入院診療を増築部分で行う。
- 増築部分で使用する医療機器は、移設や新規購入で対応。
- 旧成人病医療センター(建物)については、無償譲渡済。
- 旧成人病医療センター(土地)の出資と循環器・脳脊髄センター名称変更に係る定款変更を、平成30年第2回定例会(9月議会)に提案。

## ■改修工事 (H31年度)

- 外構工事、駐車場管制設備工事、現脳研センター建物に係る空調配管・外壁等、改修・修繕工事を実施。
- 上記作業と並行して、旧成人病医療センター建物の解体工事を行う。

旧衛生看護学院	旧成人病医療センター (県から借受け)	脳研センター
解体	心臓リハビリ室 手術室、中央材料室 病棟 病棟 心臓撮影室、CT、RI 事務室 カテーテル室	動物実験室 研究室 病棟 病棟 SCU、手術室、カテー室 放射線科、救急処置室 外来、検査、栄養、薬剤、医事
	渡り廊下	

旧成人病医療センター	脳研センター
心臓リハビリ室 手術室、中央材料室 病棟 病棟 心臓撮影室、CT、RI 事務室 カテーテル室	動物実験室 研究室等 回復期リハビリ病棟(48床) 一般病棟(38床) <del>SCU、手術室、カテー室</del> 放射線科等 外来、検査、栄養、薬剤、医事
駐車場	

脳研センター	増築部分	脳研センター
動物実験室 研究室等 回復期リハビリ病棟(48床) 一般病棟(38床) 機能訓練室 放射線科等 外来、検査、栄養、薬剤、医事	機械室 一般病棟(43床) SCU(8床) 一般病棟(35床) ICU(12床)、手術室、カテーテル室、放射線科、救急処置室等	動物実験室 研究室等 回復期リハビリ病棟(48床) 一般病棟(38床) 機能訓練室 放射線科等 外来、検査、栄養、薬剤、医事
駐車場	通路	

- \*4F・5Fに急性期病床を配置する。
- \*ICU(12床)、手術室およびカテーテル治療室を設置し、救急部門を一本化する。
- \*放射線科の一部(一般、CT、MRI、核医学)を設置する。
- \*新病棟と既存棟は1F、2F、3Fで連絡する。

※ICU：集中治療室  
SCU：脳卒中集中治療室

病床数計	184床
ICU	12床
SCU	8床
一般	116床
回復期	48床

(単位：億円)

1	旧衛生看護学院解体(駐車場整備)経費	2.4 (2.2)	【2.2】	4	脳研増築工事経費	59.9 (50.0)	【52.5】	6	既存棟改修・修繕工事経費	16.3 (16.3)	【16.3】
2	旧成人病医療センター暫定運用経費	2.8 (2.8)	【2.8】	内訳 (再掲)	本体工事費	53.6 (43.7)	【46.8】	7	脳研増築工事経費 【附帯工事費(外構工事費)】	3.4 (1.2)	【1.2】
3	旧成人病医療センター医療機器等承継経費	5.2 (5.2)	【5.2】		附帯工事費	4.2 (4.2)	【3.6】	■ 総事業費	132.1 (119.7)	【122.0】	
					設計費、工事監理費	2.1 (2.1)	【2.1】		旧成人病医療センター解体経費	- (0.4)	【7.5】
				5	医療機器等購入・移転経費 (サイクロトロン等)	42.1 (42.0)	【41.8】	※旧成人病医療センター解体経費については、H29年1月23日福祉環境委員会提示額には含まれていない。			

※1 上段の額は平成29年1月23日福祉環境委員会提示額  
 ※2 下段の( )内の額はH30年当初予算時点での見込額  
 ※3【 】内の額は現時点での見込額  
 ※端数調整あり

※これらの経費については計画に基づく概算額を含んでおり、設計・入札等において変動する。  
 ※消費税率は8%としている。

## ■整備スケジュール

※H31.3.1増築棟供用開始予定

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
旧衛生看護学院	解体工事設計	解体工事・整地			
脳血管研究センター	基本設計	実施設計	公告 入札	増築工事 医療機器・医療情報システム整備 既存棟大規模修繕工事設計	外構工事等 既存棟大規模修繕工事
旧成人病医療センター	※暫定運用期間(渡り廊下設置)			解体工事設計	解体工事・整地

# 事業概要

医務薬事課

事業名	内 容																														
<p>医療提供体制整備費補助事業</p> <p style="text-align: center;">61,077千円</p> <p>(⊕ 61,077)</p> <p>[地域医療介護総合確保基金]</p>	<p>1 事業目的 がん医療等の特殊な医療等に関する地域医療提供体制の充実・強化を図るため、医療機関の施設・設備整備に対して助成する。</p> <p>2 事業内容 医療機関等設備整備費補助事業 61,077千円 (地域医療介護総合確保基金の内示に伴う補正)</p> <p>○がん診療施設設備整備事業 ・補助率 1/3</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対象施設</th> <th style="width: 15%;">事業費</th> <th style="width: 15%;">補助基準 上限額</th> <th style="width: 15%;">補助額</th> <th style="width: 35%;">購入予定機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北秋田市民病院</td> <td style="text-align: center;">10,540</td> <td style="text-align: center;">32,400</td> <td style="text-align: center;">3,513</td> <td>注射薬混注鑑査システム 病理検査用システム顕微鏡 大腸ビデオスコープ</td> </tr> <tr> <td>能代厚生医療センター</td> <td style="text-align: center;">10,692</td> <td style="text-align: center;">32,400</td> <td style="text-align: center;">3,564</td> <td>超音波診断装置</td> </tr> <tr> <td>秋田厚生医療センター</td> <td style="text-align: center;">93,960</td> <td style="text-align: center;">64,800</td> <td style="text-align: center;">21,600</td> <td>IMRT (強度変調放射線治療機器)</td> </tr> <tr> <td>平鹿総合病院</td> <td style="text-align: center;">226,800</td> <td style="text-align: center;">64,800</td> <td style="text-align: center;">21,600</td> <td>MRI (磁気共鳴画像装置)</td> </tr> <tr> <td>雄勝中央病院</td> <td style="text-align: center;">33,480</td> <td style="text-align: center;">32,400</td> <td style="text-align: center;">10,800</td> <td>胃部集団検診X線システム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 事業費が補助基準上限額を上回る場合は、補助基準上限額に補助率を乗じて算出する。</p>	対象施設	事業費	補助基準 上限額	補助額	購入予定機器	北秋田市民病院	10,540	32,400	3,513	注射薬混注鑑査システム 病理検査用システム顕微鏡 大腸ビデオスコープ	能代厚生医療センター	10,692	32,400	3,564	超音波診断装置	秋田厚生医療センター	93,960	64,800	21,600	IMRT (強度変調放射線治療機器)	平鹿総合病院	226,800	64,800	21,600	MRI (磁気共鳴画像装置)	雄勝中央病院	33,480	32,400	10,800	胃部集団検診X線システム
対象施設	事業費	補助基準 上限額	補助額	購入予定機器																											
北秋田市民病院	10,540	32,400	3,513	注射薬混注鑑査システム 病理検査用システム顕微鏡 大腸ビデオスコープ																											
能代厚生医療センター	10,692	32,400	3,564	超音波診断装置																											
秋田厚生医療センター	93,960	64,800	21,600	IMRT (強度変調放射線治療機器)																											
平鹿総合病院	226,800	64,800	21,600	MRI (磁気共鳴画像装置)																											
雄勝中央病院	33,480	32,400	10,800	胃部集団検診X線システム																											

# 地方独立行政法人秋田県立病院機構 第3期中期目標（案）の概要

## 第2期中期目標の概要及び実績

医務薬事課

### 主な項目及び内容

- 【県民に提供するサービスその他の業務の質の向上】  
質の高い医療の提供、医療に関する調査及び研究、医療連携の推進及び地域医療への貢献、災害時における医療救護
- 【業務運営の改善及び効率化】  
効率的な運営体制の構築、病院経営に携わる事務部門の職員の確保・育成、収入の確保、費用の節減
- 【財務内容の改善】  
業務運営の改善・効率化を進め、運営費交付金の抑制に努め、収支の改善を図る
- 【その他業務運営】  
施設・設備、人事管理、就労環境の整備

### 取組実績

- 脳研センターは、脳・循環器疾患の三次救急拠点として、高度医療を提供しているが、循環器疾患の急性期患者の受入れに課題がある。リハセンにおいては精神科救急の全県拠点病院として、予防活動、急性期医療・回復期医療の充実を図った。
- 医療の安定的な提供、さらなる経営改革が図られるよう、効率的な運営体制を構築し、収入の確保や費用の節減を図ったが、両センターともに病床利用率は計画を下回った。
- 業務運営の改善及び効率化を進め、赤字幅の圧縮に努めたが、平成29年度末において繰越欠損金の残高を、4億9,217万円有している。
- 脳研センターは、脳・循環器疾患の包括的な医療体制の整備を進めており、平成31年3月には「循環器・脳脊髄センター」に名称変更し、包括的医療の提供可能な新棟を稼働する予定。

## 第3期中期目標の目指すべき方向

## 今後の課題

- 医療機能の充実強化と医療連携の推進
  - 医療従事者の確保・育成による高度で専門的な医療の安定的な提供
  - 脳・循環器疾患の三次救急医療や精神科救急医療の機能強化
  - 医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に向けた連携の強化
- 経営の効率化による安定的な収支構造の確立
  - 病床利用率の向上、制度改正への適切な対応による収入の確保
  - 県民の医療需要を勘案した施設・設備整備、費用対効果を踏まえた事業執行
  - 繰越欠損金の圧縮

- 脳・循環器疾患の包括的な医療提供体制の強化
- 三次医療機能の充実とリハビリテーション医療、認知症専門医療等の分野における地域連携の推進
- 病床利用率の向上やドック・検診受診者の拡大等による収入の確保
- 収支均衡の達成等に向けた経営改革、安定的な医療提供に必要な運営費交付金のあり方の検討や繰越欠損金の解消を目指した取組の推進

## 第3期中期目標の構成

- 第1 中期目標の期間  
平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間
- 第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
  - 1 質の高い医療の提供
    - ◇「健康寿命日本一」を目指すため、脳卒中・心疾患・認知症の発症予防について、高度な診断機器の活用や予防のための体制整備など、予防効果の向上に取り組む。
    - ◇循環器・脳脊髄センターは脳・循環器疾患の三次救急医療の拠点として、リハビリテーション・精神医療センターは精神科救急の全県拠点病院として機能充実を推進する。
  - 2 医療に関する調査及び研究
    - ◇研究体制を強化し、より先駆的な研究及び臨床に応用できる研究に取り組み、県内の医療水準の向上を図るとともに、研究成果に関する県民への広報に努める。
  - 3 医療連携の推進及び地域医療への貢献
    - ◇医療から介護・福祉への切れ目のないサービス提供に向けた関係機関との連携。
    - ◇健康寿命延伸に向け、県民に対し情報発信や、医療従事者の教育・研修に努める。
  - 4 災害時における医療救護等
    - ◇円滑な医療救護活動の実施、リハセンの災害拠点精神科病院の整備に向け検討する。

- 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
  - 1 効率的な運営体制の構築
    - ◇医療を安定的に提供するとともに、効率的な運営体制を構築し、更なる経営改革を図る。
  - 2 病院経営に携わる事務部門の職員の確保・育成
  - 3 収入の確保、費用の節減
- 第4 財務内容の改善に関する事項
  - 業務運営の改善・効率化を進めるとともに、運営費交付金の抑制に努め、収支の改善を図ること。
- 第5 その他業務運営に関する事項
  - 1 施設及び設備の整備に関する事項
    - ◇費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に勘案し、計画的に実施。
  - 2 人事に関する事項
    - ◇職員の適切な配置と業績・能力評価を的確に反映した人事管理。
  - 3 職員の就労環境の整備
    - ◇ワーク・ライフ・バランスや国の働き方改革を踏まえた多様な勤務形態の導入 等